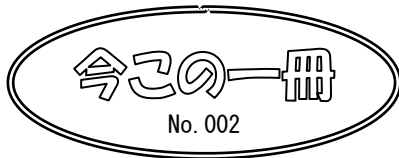


みなさんこんにちは！

アンケートで答えてもらった「心に残った本」が本校図書館にもたくさんあるので、ぜひ図書館で借りて、読み返してみてください。



このコーナーは船高図書館司書が「今が紹介のとき！」と思った本を紹介していくコーナーです。

第2回目の本はこちら↓

『格闘する者に○』

三浦しをん 著
新潮社



三浦しをんさんと言えば便利屋を営む主人公と友人を描いた『まほろ駅前多田便利軒』（第135回直木賞受賞）や辞書編纂者の姿を描いた『舟を編む』（2012年本屋大賞受賞）、現在TVアニメ放送中の『風が強く吹いている』等でご存知の方も多と思います。このように活躍されているしをんさんですが、さて、デビュー作は？ というわけで紹介するのがデビュー作『格闘する者に○』です。

「漫画大好き→漫画雑誌の編集者になれたらな〜と就職活動をする女子大生」のお話なのですが、恐ろしいほど年上の恋人がいたり豹柄ブーツで会社説明会に出かけたり物凄い妄想を繰り広げたり……と、デビュー作にしてかなりしをん節の効いた仕上がりになっています。

自身の就職活動経験を元に書いた、というこの作品ですが、彼女が作家になるきっかけとなったのもこの就職活動でした。早川書房という出版社の入社試験で、面接担当者だった村上氏（後の著作権エージェント会社「ボイルドエッグズ」代表）の目に留まり、文章を書き始めることになったのです。これがなければ作家・三浦しをんはなかったかもしれませんね。

彼女の文章はさらっとしているので、読書ビギナーにもオススメです。



「——なあ。逃げないことと。/
逃げることから逃げること。/
なにが違うんだろな……？」

（『ノーゲーム・ノーライフ 10』かみやゆう 榎宮祐 著 /KADOKAWA）

この言葉は、作中の主人公が^{ドワーフ}地精種の頭領とのゲームの最後に問うた言葉です。私たちのほとんどは、目の前の物事や達成しなければならぬ事から目をそむけたり逃げたりすると臆病者だとか卑怯者だと言われます。でも、逃げずに達成した人と逃げながらも死にももの狂いで頑張って達成した人とではなにがどう違うのだろう。そう思いこの一文を選びました。

アンケート全結果発表!!

前号でお知らせした通り、読書アンケートの全集計結果を図書館前廊下と図書館内に掲示しました。王道からマニアックな回答まで……。船高生の華麗なる読書事情をご堪能ください。

